

【学校保健委員会実践事例】 受講番号 2 2 鹿児島市立吉野東中学校 養護教諭 米永 瞳			
目標	- 本年度の学校保健委員会活動がよりよく展開できるように各委員の人間関係づくりを行う。 - 本年度の研究テーマ設定の理由とその必要性について各委員に理解させる。	対象者	学校保健委員会委員 (PTA保健部員・職員・学校医)
委員会の会順	主な活動内容		留意点
1 はじめのことば 2 学校長あいさつ 3 自己紹介 4 協議 (1) 学校保健安全計画について (2) 定期健康診断結果について (3) 本年度の研究テーマについて 5 学校医指導 6 おわりのことば	【エクササイズ1：他己紹介】 じゃんけん質問ゲーム（3分間） ① 2人組になりじゃんけんをする。勝った方が相手に質問をする。 ② 負けた方は質問に答えるが、答えたくない質問に対しては「パス」と言ってよい。 ③ 3分経過後、全体で相手のことについて紹介を行う。 ④ シェアリング ・ 本校生徒の心身の健康状態について説明する。 ・ 昨年度までの取組状況と本年度の研究テーマ設定の理由等について説明する。 研究テーマ 「健康で心豊かな生活を実践できる子どもの育成～セルフエスティームを高める～」 【エクササイズ2：ブレインストーミング】 保護者から子どもへの声かけ ① グループをつくる（職員・各学年部）。 ② 昨夜から今朝、子どもが学校に行くまでの間にかけた言葉を付箋紙に書く。 ③ 付箋紙記入合計枚数を発表させる。 ④ 付箋紙に書かれた言葉の内容を「島わけ」し、広幅用紙に貼る。 ⑤ グループ内で広幅用紙に島わけされたものについて意見交換しまとめる。 ⑥ 広幅用紙をもとにグループの意見を代表者が発表する。 ⑦ シェアリング ・ エクササイズの中で気づいたことと研究テーマとの関係について資料をもとに説明する。 ・ 今後の学校や家庭での取組について話し合う。		・ 今回が委員の初顔合わせである。特にPTA保健部員は各学級の代表として参加しているので、緊張している。今後の話し合い活動での意見等が出やすいような雰囲気づくりをする。 ・ エクササイズの進め方について例を示す。（自己開示・他者理解） ・ 健康課題について確認する。 ・ 何を書いていいかとまどっている委員には声かけをして、昨夜からの家庭の様子や場面を思い出させるようする。 ・ 日頃の子どもへの声かけについてどのような傾向があるか、広幅用紙に貼られた言葉を見ながら、気づかせる。（受容・共感） ・ 委員同士の話し合いを重視する。（シェアリング） ・ 指示命令の言葉が多く、賞賛や感謝の言葉が少ないことに気づかせる。 ・ 会の話し合い内容や感じたことについて各学級に伝えることを確認する。
実践の考察	① それぞれのエクササイズの特徴による効果を確認し、2つのエクササイズを取り入れた。学校側からの一方的な説明になりがちな会の運営であったが、エクササイズを取り入れることにより委員同士のコミュニケーションづくりや研究テーマについて理解することができた。 ② 本研究テーマにせまるためには、各学級での取組も重要であると考え、1回目のセミナー資料を全職員に配布し、受講内容について説明した。今後は、それぞれの立場や教科領域で、カウンセリングの基本的な考え方や技法を生かした幅広い教育活動へ発展していけるように情報提供や実践を心がけていきたい。		

--	--